

学校教育支援事業  
Support project for school education

熊本博物館  
KUMAMOTO CITY MUSEUM  
Goal 4

社会教育・生涯学習施設としての役割を担う博物館ですが、学校との連携（博学連携）についてもその必要性・重要性が一層高まってきました。そのような状況をふまえ、当館は『学校教育支援事業』を展開しています。この事業は、博物館から学校に学芸員を派遣する『お出かけ事業』と、先生方・児童・生徒の皆さんが来館されたときに行う『お迎え事業』の2本柱から成り、初等教育における質の高い学習活動を支援する事業となっています。

『お出かけ事業』の中心は、主に社会科や理科の学習材として価値のある資料及び学芸員の知識や技能を学習指導に活かす「ゲストティーチャー派遣授業」で、当館が作成・配布した「プログラム集」を元に、学校からの要請に応じて可能な範囲で授業を行っています。子どもたちからは「授業が楽しかった、内容もよくわかった」という高評価、先生方からは「とても関心・意欲が高まり、学習支援に感謝します」とのご回答をいただいております。

また、平成30年12月1日の当館リニューアルオープン後は、常設展示物や収蔵資料の価値や魅力を伝える『館内学習支援活動』をスタートします。そのための準備として、熊本市内の小中学校の先生方（8名）と当館学芸員との協働作業によって「館内学習プログラム集」を作成し、今年（平成30年）3月には市内全ての小中学校に配布したところです。

『ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）』と『館内学習支援活動（お迎え事業）』の両輪で、学校教育支援と博学連携の更なる充実を目指しています。



3年理科「身近な自然観察」



5年社会科「米作りの一年間」